

## 5週目：生きるための「原理と基礎」とは？



今まで、「自分の歴史の中で神を見つける」ということを黙想してきました。特に、第3週と第4週の霊操で、神に自分が受け入れ愛されているということは、生きるために一番大事なことだと見てきました。すなわち、神はいつも無条件に絶対的に自分を愛してくださる。この実感と体験こそ、神からの最大の賜物と力です。聖イグナチオはそのような確信を、「原理と基礎」と呼びます。今週、もう一度生きるための「原理と基礎」を反復します。

「基礎」というのは、自分の生涯を支えてくれるからです。神の愛によって自分が創造され、今度神の愛を体験することは、自分の創造の目的を示してくれるものです。「原理」というのは、今だけではなくいつも常に、自分個人にとってだけでなく全ての人のために、エネルギーと力の源です。

### 原理と基礎

私たちの人生の目的は神と共に永遠に生きること。

神は私たちを愛して、私たちに生命を与えられた。

私たちが神の愛に応えるならば、神の生命が限りなく私たちに流れ込む。

この世界のすべてのものは神からの贈り物。

神がもっとよく分かるように、神をもっとよく愛し返すように、

神はこの贈り物を私たちに示された。

だから、神の贈り物すべてを、もしそれが人びとを愛する助けとなるなら、

私たちは大切に使う。

でも神のどんな贈り物であれ、それが私たちの人生の中心となるなら、それがわざわざいってかわり、私たちが目的に向かって成長するのを妨げる。

だから毎日の生活において、神が創られたすべての贈り物を前にして、選ぶことができ、義務に拘束されていない限り、心の均衡を保たなければならない。

健康か病気が、裕福か貧乏か、成功か失敗か、長生きか早死にか、

どちらかにこだわるべきではない。

なぜなら全てのものが、神の内にある私たちの生命に

もっと深く応えるよう私たちを呼び起こす力を秘めているから。

私たちの唯一の望み、私たちの唯一の選びはこれであるべきだ。

私は求め、私は選ぶ。私の内にある神の生命を深めるよう、より良く導くものを。

『霊操』冒頭から (D.L.フレミング訳)

「原理」と「基礎」の黙想は日々の霊操において最も大切なところですが、34週の霊操の間に、度々「原理と基礎」の霊操に戻り、黙想し直すことを行なってください。ここで注意すべきことは、理論的に「原理と基礎」を祈るのではなく、自分の歴史における「神に愛されている」自分の体験に辿りつきながら、その意味を探り、今神が自分に求めてくださるようなことだけを取り、それを祈りの中で深めて、神と語り合い、実現するように恵みを願ってください。

## 祈りの要点

\*恵み：私が造られた目的を悟り、靈的自由をもって生きることができるように。

第1日： 「原理と基礎」を祈る

- まず全体の「原理と基礎」を読んで、祈ってみる。（イシドロ・リバス、『祈りを深めるために』その2、18～19頁を参照）
- 分からないところはどこか。ピンとくるところはどんなところか。

第2日： 人間の創造の目的を祈る。

「私が造られたのは、主なる神を賛美し、敬い、仕えるためであり、こうすることによって、私の靈魂を救うためである」（靈操 23a）

- 私が造られた目的は何だろうか。
- 神を賛美し、敬い、仕えるとは、私にとって何を意味するだろうか。私は神とどのような関わりを持っているだろうか。
- 自分の魂の救いとは、具体的な今の私にとって何だろうか。

第3日： 被造物の意味を祈る。

「地上の他のもの（こと・ひと）が造られたのは、私のためであり、私が造られた目的を達成するために、助けとなるためである。助けとなるものを選び、妨げとなるものから離れねばならない」（靈操 23b）

- 神との関わりのため、助けとなっているもの（こと・ひと）は何か。
- 逆に、妨げとなっているものは。

第4日： 人間の態度（不偏心）のことを祈る。

「それらすべての被造物に対して、私は偏らない心（靈的）自由・不偏心」をもたなければならぬ」（靈操 23c）

- 私は神さまを中心にして、他の被造物（神と私以外のすべて）から自由だろうか。
- 神の愛を味わい直そう。そうすれば、他のものへのこだわりを捨てることができる。
- 私が執着しているもの、とらわれているものがあるだろうか。

第5日： 生きるための望みと選びの基準を祈る。

「ただ私が造られた目的によりよく導いてくれるものだけを望み、選ぶべきである」（靈操 23d）

- 私が造られた目的を心から望んでいるだろうか。あなたの望みは。

- 私の選びの基準はどのようなものか。私の造られた目的を意識しているだろうか。

第6～7日： 反復

「原理と基礎」の中で、深めたいところ・味わいなおしたいところに戻って、もう一度よく黙想してみよう。

- a. 人間の創造の目的、
- b. 被造物の意味、
- c. 人間の態度（不偏心）、
- d. 望みと選びの基準

#### 他の聖書箇所

- マタイ 6:25-34（何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようか、思い悩むな）
- 詩篇 104（私を招いてくださる神は、私を創造し、愛しておられるがゆえに一切を私のために取り計らってください）
- コロサイ 1:15-20（救い主であるキリストは、全被造物の頭）
- 知恵 11:21-27（生命を愛する主よ、あなたはすべてのものを惜しまれる、すべてはあなたのものだから）
- 創世 22:1-18（アブラハムの信仰と自由は、私の信仰と自由への問いかけでもある）
- フィリピ 1:21-26, 3:7-16, 4:10-13（私は、聖パウロの生き方にどこまで合わせることができるであろうか）

#### 参考資料

（イシドロ・リバス、『祈りを深めるために』その2）

「原理と基礎」の祈り方（16～17頁）、聖イグナチオの「原理と基礎」（18～24頁）